

2017年1月24日 全13頁

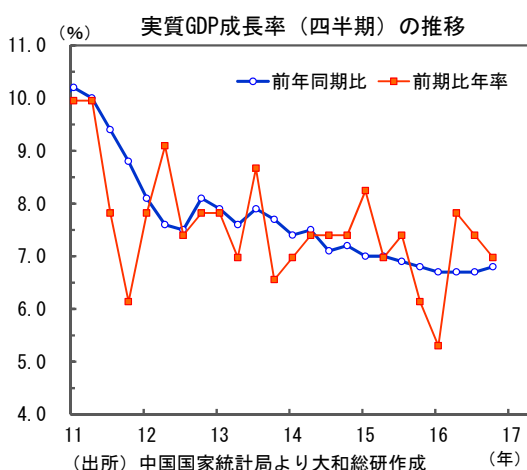
グラフで見る 2016年12月の中国経済動向

経済調査部 研究員 橋本 玲子
 主席研究員 齋藤 尚登

GDP

- ◆ 2016年10-12月期の実質GDP成長率は前年同期比6.8%だった。1-3月期以降は3四半期連続で同6.7%成長であったが、10-12月期は0.1%pt上向いた。前期比年率で見ると、1-3月期の5.3%から4-6月期には7.8%と大幅に改善し、7-9月期は7.4%、10-12月期は7.0%であった。
- ◆ 2016年の実質GDP成長率は前年比6.7%だった。需要項目別寄与度は、最終消費支出が4.3%pt、総資本形成が2.8%pt、純輸出が▲0.5%ptであった。純輸出については、1-3月期の▲1.4%pt、1-6月期の▲0.7%ptと比べマイナス幅が縮小しており、内需の減速（1-3月期の8.1%pt→1-12月期の7.2%pt）を補った。
- ◆ 2016年の産業別成長率では、第三次産業が前年比7.8%と堅調である。
- ◆ 2016年の各地方成長率はまだ部分的にしか公表されていない。1-9月期では、西部が比較的高く、チベット自治区、貴州省、重慶市は2桁成長が続いている。一方、遼寧省は前年同期比2.2%減と唯一マイナス成長となった。

実質GDP成長率、需要項目別寄与度



需要項目別実質GDP成長率寄与度（前年同期比）

	成長率(累計)	最終消費支出	総資本形成	純輸出	
		%	%pt	%pt	%pt
2011年	1-3月	10.2	6.1	3.8	-0.1
	1-6	10.1	5.1	4.6	0.1
	1-9	9.8	5.0	4.4	0.1
	1-12	9.5	5.9	4.4	-0.8
2012年	1-3月	8.1	6.4	2.4	-0.7
	1-6	7.9	4.7	4.0	-0.9
	1-9	7.8	4.2	3.9	-0.4
	1-12	7.9	4.3	3.4	0.2
2013年	1-3月	7.9	4.3	2.3	1.1
	1-6	7.7	3.4	4.1	0.1
	1-9	7.8	3.5	4.3	-0.1
	1-12	7.8	3.6	4.3	-0.1
2014年	1-3月	7.4	5.5	3.1	-1.2
	1-6	7.4	4.0	3.6	-0.2
	1-9	7.3	3.6	3.0	0.8
	1-12	7.3	3.6	3.4	0.3
2015年	1-3月	7.0	4.5	1.2	1.3
	1-6	7.0	4.2	2.6	0.3
	1-9	7.0	4.0	3.0	-0.1
	1-12	6.9	4.1	2.9	-0.1
2016年	1-3月	6.7	5.6	2.5	-1.4
	1-6	6.7	4.9	2.5	-0.7
	1-9	6.7	4.8	2.5	-0.5
	1-12	6.7	4.3	2.8	-0.5

(出所) 中国国家统计局、CEICより大和総研作成

産業別成長率

産業別実質GDP成長率（1月から累計の前年同期比、単位：％）

		実質GDP 成長率	第一次 産業	第二次 産業	工業	建設業	第三次 産業	交通 運輸等	卸売・ 小売等	ホテル・ 飲食業	金融業	不動産業	その他 サービス業
2011年	1-3月	10.2	3.2	11.3	11.5	10.3	9.9	9.3	12.3	4.7	11.6	8.8	9.0
	1-6	10.1	2.9	11.1	11.4	10.0	10.1	9.3	12.3	4.8	11.0	8.7	9.7
	1-9	9.8	3.5	11.0	11.3	9.8	9.9	9.7	12.2	4.9	9.0	8.7	9.8
	1-12	9.5	4.2	10.7	10.9	9.7	9.5	9.7	12.5	5.1	7.7	7.4	9.6
2012年	1-3月	8.1	3.7	9.5	9.4	10.2	7.3	5.7	10.1	6.2	6.8	0.6	8.9
	1-6	7.9	4.3	8.7	8.5	9.8	7.6	5.9	10.0	6.1	8.0	1.2	8.9
	1-9	7.8	4.2	8.3	8.1	9.8	7.8	5.8	10.1	6.3	8.8	3.1	8.5
	1-12	7.9	4.5	8.4	8.1	9.8	8.0	6.1	10.3	6.5	9.4	4.7	8.1
2013年	1-3月	7.9	3.0	7.8	7.6	9.9	8.4	6.4	10.1	3.4	10.9	9.8	7.0
	1-6	7.7	2.8	7.7	7.4	9.8	8.3	6.3	10.3	3.5	10.3	8.6	7.4
	1-9	7.8	3.3	7.9	7.7	9.9	8.4	6.5	10.4	3.7	10.6	8.1	7.5
	1-12	7.8	3.8	8.0	7.7	9.7	8.3	6.6	10.5	3.9	10.6	7.2	7.5
2014年	1-3月	7.4	3.2	7.6	7.3	9.4	7.6	6.0	10.2	5.6	8.6	2.6	8.1
	1-6	7.4	3.7	7.7	7.4	9.5	7.6	6.4	10.1	5.8	8.2	2.5	8.3
	1-9	7.3	4.1	7.6	7.2	9.3	7.6	6.3	9.9	5.8	8.5	2.1	8.4
	1-12	7.3	4.1	7.4	7.0	9.1	7.8	6.5	9.7	5.8	9.9	2.0	8.5
2015年	1-3月	7.0	3.1	6.3	6.1	8.6	8.0	5.4	6.1	5.7	15.8	1.0	8.9
	1-6	7.0	3.5	6.2	6.1	6.9	8.3	4.6	6.0	5.7	17.5	2.9	8.8
	1-9	7.0	3.8	6.1	6.0	6.5	8.4	4.6	6.0	6.0	17.0	3.6	9.1
	1-12	6.9	3.9	6.2	6.0	6.8	8.2	4.1	6.1	6.2	16.0	3.2	9.3
2016年	1-3月	6.7	2.9	5.9	5.7	7.8	7.6	3.3	5.8	7.0	8.1	9.1	8.7
	1-6	6.7	3.1	6.1	5.9	7.5	7.5	4.6	6.2	6.9	6.7	9.0	8.9
	1-9	6.7	3.5	6.1	6.0	6.9	7.6	5.3	6.4	6.8	6.3	8.9	8.9
	1-12	6.7	3.3	6.1	6.0	6.6	7.8	6.5	6.7	6.9	5.7	8.6	9.3

【参考】

2016年構成比	100.0	8.6	39.8	33.3	6.7	51.6	4.5	9.6	1.8	8.3	6.5	20.5
----------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

各地方の成長率

省別実質成長率の推移（前年比・前年同期比、単位：％）

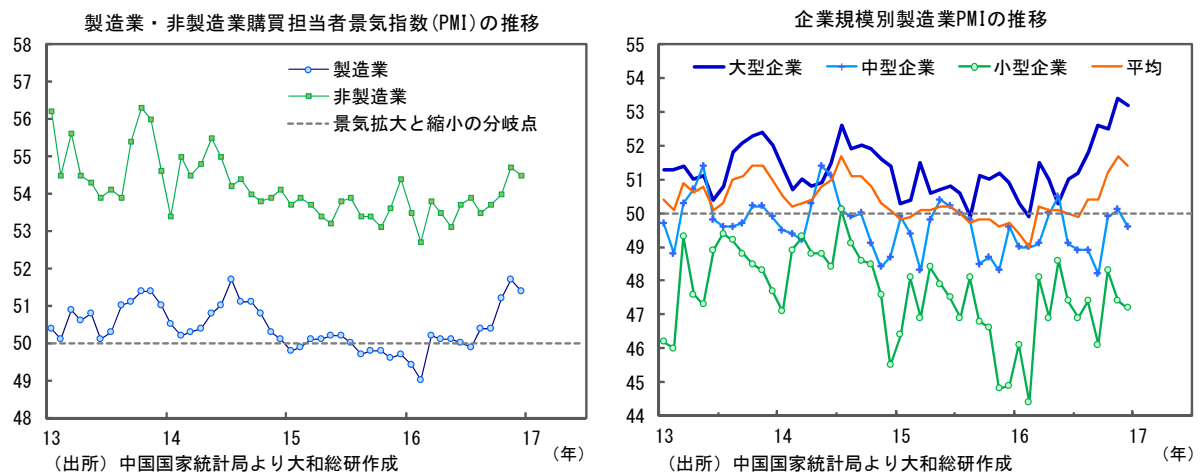
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年1-9月	2016年
東部	北京	8.1	7.7	7.7	7.3	6.9	6.7
	天津	16.4	13.8	12.5	10.0	9.3	9.1
	河北	11.3	9.6	8.2	6.5	6.8	6.8
	遼寧	12.2	9.5	8.7	5.8	3.0	-2.2
	上海	8.2	7.5	7.7	7.0	6.9	6.7
	江蘇	11.0	10.1	9.6	8.7	8.5	8.1
	浙江	9.0	8.0	8.2	7.6	8.0	7.5
	福建	12.3	11.4	11.0	9.9	9.0	8.4
	山東	10.9	9.8	9.6	8.7	8.0	7.5
	広東	10.0	8.2	8.5	7.8	8.0	7.3
	海南	12.0	9.1	9.9	8.5	7.8	7.4
	中部	山西	13.0	10.1	8.9	4.9	3.1
吉林		13.8	12.0	8.3	6.5	6.3	6.9
黒竜江		12.3	10.0	8.0	5.6	5.7	6.0
安徽		13.5	12.1	10.4	9.2	8.7	8.7
江西		12.5	11.0	10.1	9.7	9.1	9.1
河南		11.9	10.1	9.0	8.9	8.3	8.1
湖北		13.8	11.3	10.1	9.7	8.9	8.1
湖南		12.8	11.3	10.1	9.5	8.5	7.6
西部	内モンゴル	14.3	11.5	9.0	7.8	7.7	7.1
	広西	12.3	11.3	10.2	8.5	8.1	7.0
	重慶	16.4	13.6	12.3	10.9	11.0	10.7
	四川	15.0	12.6	10.0	8.5	7.9	7.5
	貴州	15.0	13.6	12.5	10.8	10.7	10.5
	雲南	13.7	13.0	12.1	8.1	8.7	7.6
	チベット	12.7	11.8	12.1	10.8	11.0	10.7
	陝西	13.9	12.9	11.0	9.7	7.9	7.3
	甘肅	12.5	12.6	10.8	8.9	8.1	7.5
	青海	13.5	12.3	10.8	9.2	8.2	8.2
	宁夏	12.1	11.5	9.8	8.0	8.0	8.0
	新疆	12.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.9
	全国平均	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7

(出所) 中国国家统计局、中国統計年鑑、CEICなどより大和総研作成

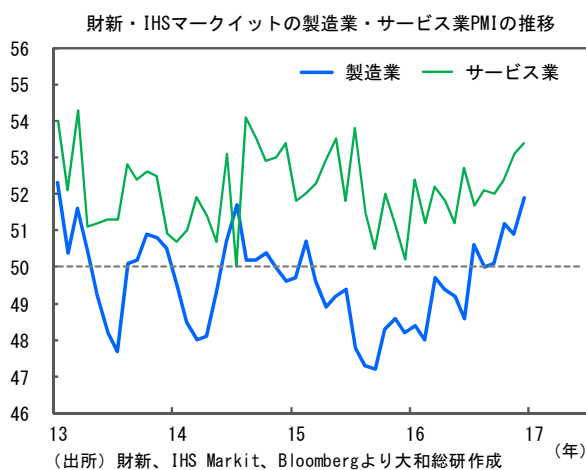
景況感

- ◆ 中国国家統計局と中国物流購入連合会が発表した2016年12月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は51.4と、11月より0.3pt低下したが、景気拡大と縮小の節目である50を5ヵ月連続で上回った。非製造業PMIは54.5と、11月に続き高水準を維持している。
- ◆ 上記製造業PMIを企業規模別に見ると、大型企業は53.2(11月は53.4)と堅調を維持しているが、中型企業は49.6(11月は50.1)と再び50を下回った。また、小型企業は47.2と50を大きく下回り、11月(47.4)よりも悪化した。
- ◆ 中国メディアの財新と調査会社IHSマークイットが発表した12月の製造業PMIは、51.9と11月(50.9)より1.0pt上昇し、6ヵ月連続で50を上回った。サービス業は53.4(11月は53.1)と、3ヵ月連続で上昇した。

国家統計局の製造業・非製造業PMI、企業規模別製造業PMI



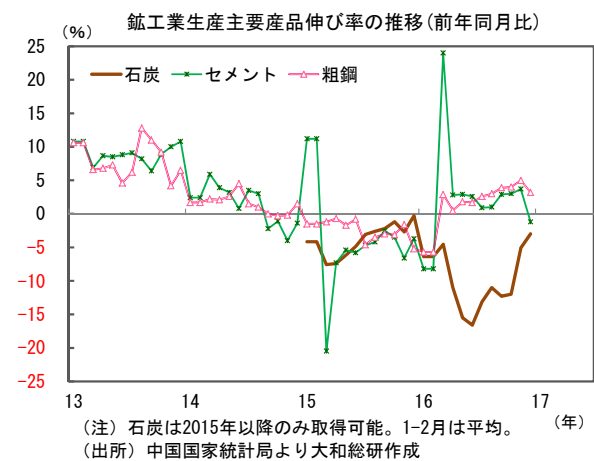
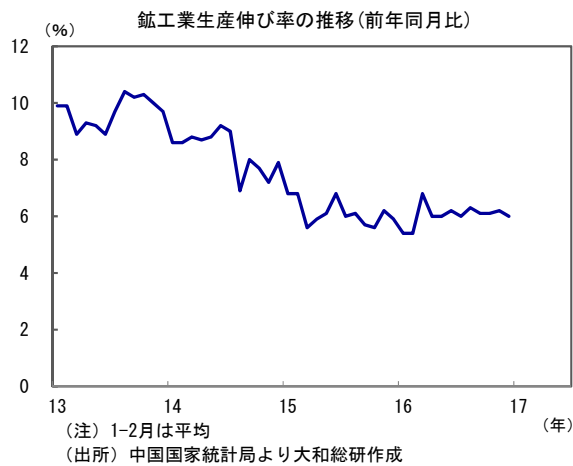
財新・IHSマークイットの製造業・サービス業PMI



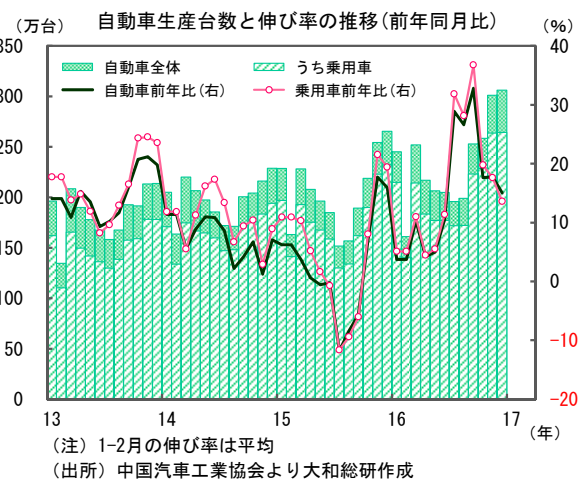
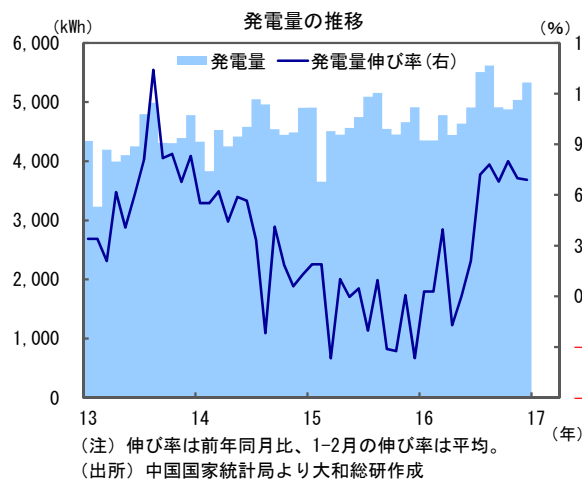
鉱工業生産

- ◆ 2016年12月の鉱工業生産は前年同月比6.0%増と伸び率は前月より0.2%pt低下した。主要製品では、セメント:同1.2%減(11月は同3.7%増)や粗鋼:同3.2%増(11月は同5.0%増)が前月より低下、石炭は同3.0%減(11月は5.1%減)と減少幅を縮めた。
- ◆ 12月の発電量は、前年同月比6.9%増と高水準を維持している。11月(同7.0%増)よりやや低下したが、15年12月の同3.7%減をボトムに回復傾向にある。
- ◆ 自動車生産台数は、16年11月に統計開始以来初めて300万台を超え、12月も306万台と堅調であった。ただし、前年同月比では15.0%増となり、直近ピークである16年9月の同31.5%増からは大きく鈍化した。

鉱工業生産、主要製品



発電量、自動車生産台数

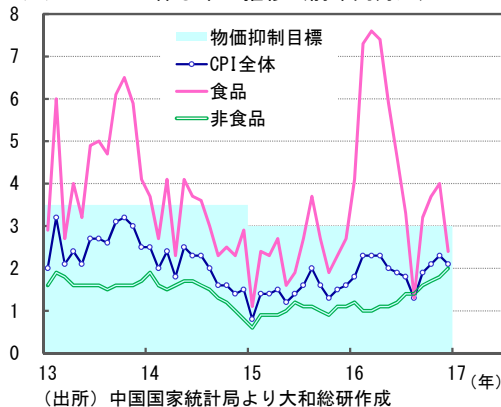


物価

- ◆ 2016年12月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比2.1%上昇（11月は同2.3%上昇）、食品は同2.4%上昇と伸び率は11月の同4.0%上昇から大きく低下。非食品は同2.0%上昇（11月は同1.8%上昇）した。分類別に見ると、生鮮野菜が大幅に鈍化（11月：同15.8%上昇→12月：同2.6%上昇）した一方で、肉類（同4.3%上昇→同4.8%上昇、うち豚肉は同5.6%上昇→同6.2%上昇）が上昇ペースを速めた。
- ◆ 2016年のCPIは前年比2.0%の上昇となり、2016年3月の全人代で示された年間抑制目標の3%を下回った。
- ◆ 12月の工業製品出荷価格指数は前年同月比5.5%上昇と伸び率は11月から2.2%pt上昇し、2011年9月以来の高さとなった。うち採掘工業品価格が同21.1%上昇（11月比6.3%pt上昇）、原材料価格が同9.8%上昇（同4.0%pt上昇）と大幅に上昇し、全体を押し上げた。
- ◆ 2016年の工業製品出荷価格指数は、前年比1.4%下落した。

消費者物価

(%) CPI伸び率の推移（前年同月比）



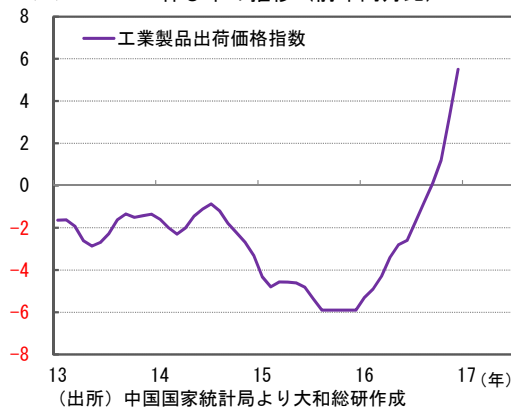
消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	食品・ たばこ・ 酒	衣服	住居	生活用品 及び サービス	交通・ 通信	教育文化 ・ 娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2016/01	3.6	1.9	1.4	0.6	-1.6	1.7	2.9	-0.4
2016/02	5.8	1.6	1.3	0.3	-1.6	0.9	2.8	0.4
2016/03	6.0	1.5	1.3	0.4	-2.6	1.2	3.1	1.7
2016/04	5.9	1.5	1.4	0.5	-2.4	1.2	3.2	1.7
2016/05	4.7	1.5	1.6	0.6	-2.6	1.2	3.5	2.2
2016/06	3.7	1.4	1.6	0.6	-1.8	1.4	3.8	2.6
2016/07	2.8	1.4	1.6	0.6	-1.6	1.6	4.3	4.4
2016/08	1.5	1.3	1.5	0.4	-1.2	1.3	4.3	4.5
2016/09	2.7	1.2	1.5	0.3	-0.4	2.0	4.3	4.4
2016/10	3.0	1.3	1.8	0.4	-0.4	2.1	4.8	3.6
2016/11	3.2	1.4	2.0	0.3	0.0	2.2	4.4	4.2
2016/12	2.2	1.1	2.1	0.4	0.9	2.3	4.6	4.0

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

生産者物価

(%) PPI伸び率の推移（前年同月比）



工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）

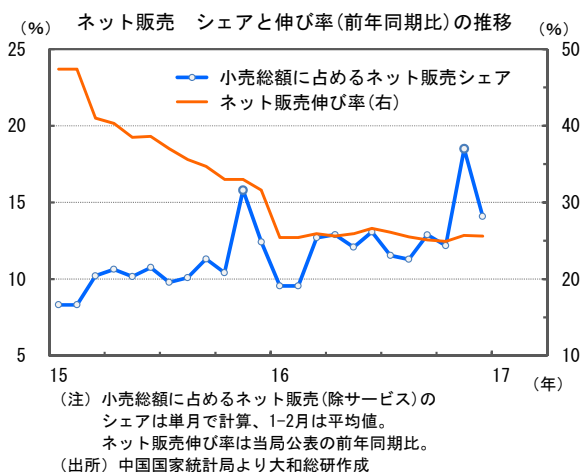
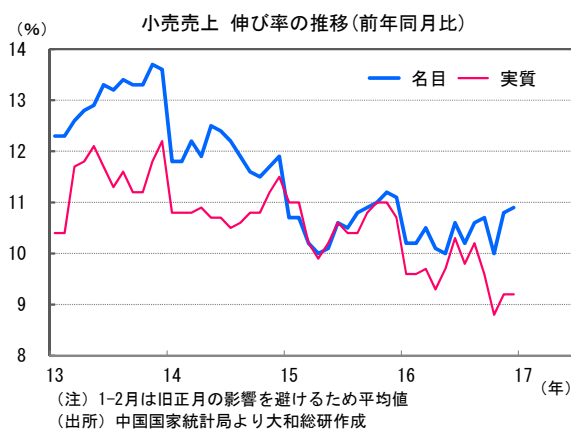
	生産財価格					生活財価格				
	採掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品	食品	衣類	日用品	耐久 消費財			
2016/01	-5.3	-6.9	-19.8	-9.1	-4.9	-0.5	0.2	0.7	-1.2	-1.6
2016/02	-4.9	-6.5	-18.2	-8.9	-4.5	-0.4	0.4	0.7	-1.0	-1.7
2016/03	-4.3	-5.7	-16.3	-8.8	-3.6	-0.2	0.7	0.8	-0.6	-1.7
2016/04	-3.4	-4.5	-13.0	-7.7	-2.5	-0.2	0.7	0.7	-0.5	-1.7
2016/05	-2.8	-3.7	-9.6	-7.2	-1.8	-0.2	0.6	0.7	-0.3	-1.7
2016/06	-2.6	-3.5	-8.2	-6.1	-2.0	-0.1	0.6	1.0	0.0	-1.7
2016/07	-1.7	-2.3	-5.6	-4.5	-1.2	0.0	0.2	1.1	0.6	-1.4
2016/08	-0.8	-1.0	-3.2	-2.3	-0.4	0.0	0.1	0.8	0.7	-1.3
2016/09	0.1	0.1	2.1	-0.2	0.1	0.0	0.3	0.7	0.5	-1.5
2016/10	1.2	1.6	7.9	1.9	0.9	0.1	0.6	0.9	0.2	-1.2
2016/11	3.3	4.3	14.8	5.8	2.9	0.4	0.9	1.1	0.7	-1.0
2016/12	5.5	7.2	21.1	9.8	5.1	0.8	1.3	1.3	1.3	-0.8

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

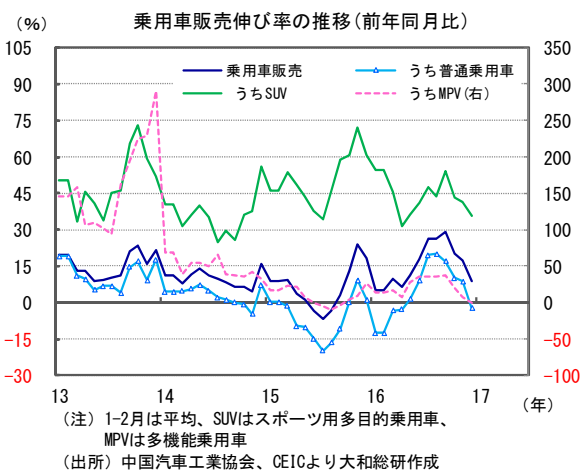
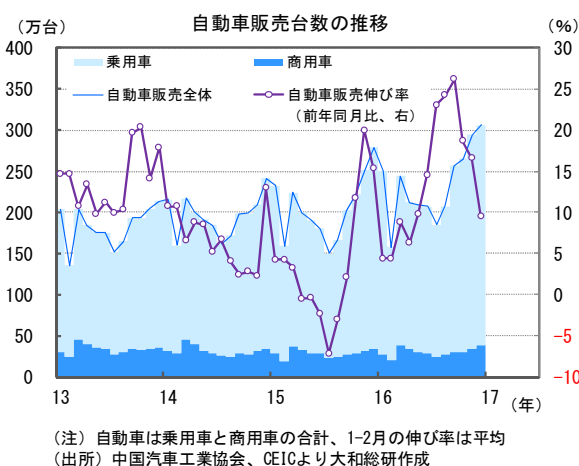
小売

- ◆ 2016年12月の小売売上は、名目で前年同月比10.9%増(11月は同10.8%増)、実質で同9.2%増(11月も同9.2%増)だった。2016年(通年)では、名目は前年比10.4%増、実質は同9.6%増となった。
- ◆ 2016年のネット販売(除サービス)は、前年比25.6%増であった。12月単月では前年同月比25.9%増と、「独身の日」(11月11日、通販各社が行う大規模セール)の活況で伸び率の高かった11月単月(同29.8%増)からは減速した。
- ◆ 12月の小売総額に占めるネット販売額のシェアは14.1%と、「独身の日」を含む11月(同18.5%)に比べると低下した。2016年(通年)のシェアは、12.6%だった。
- ◆ 12月の自動車販売台数は306万台と2000年1月の統計開始以来最多を記録、前年同月比は9.5%増であった。乗用車販売は同9.1%増、うちSUV(スポーツ用多目的車)は同35.6%増と好調であった。2016年の自動車販売は前年比13.7%増の2,803万台、うち乗用車は同14.9%増の2,438万台であった。
- ◆ 15年10月に導入された小型車(排気量1,600cc以下)の車両購入税は、16年末までは半減(価格の10%→5%)、17年は7.5%の軽減税率が適用される。

小売売上の推移



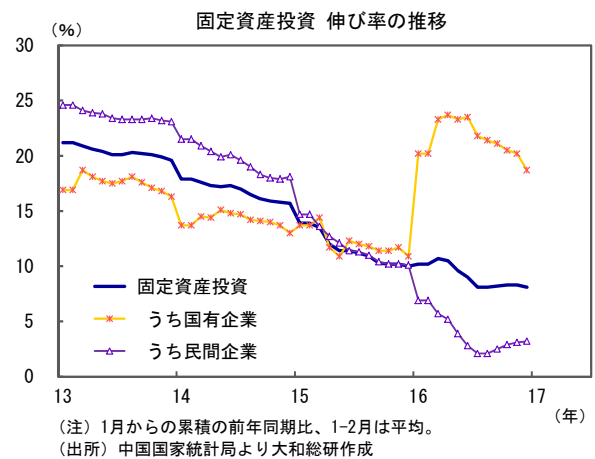
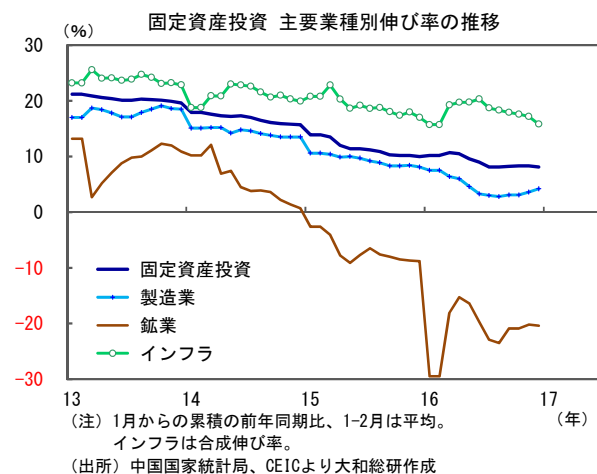
自動車販売



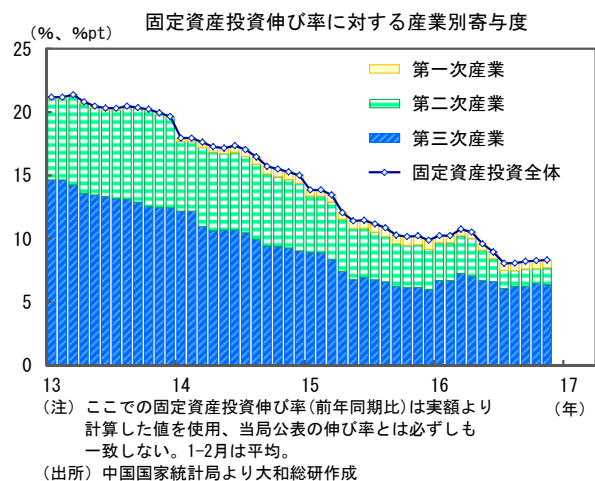
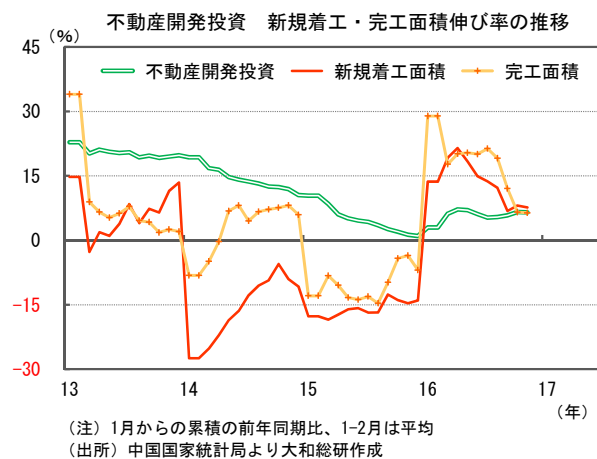
投資

- ◆ 2016年の固定資産投資は前年比8.1%増と、1月～11月の前年同期比8.3%増からやや減速した。全体の3割強を占める国有企業については、2016年に入り前年同期比20%以上の伸び率を維持していたが、通年では前年比18.7%増に減速した。一方、全体の6割強を占める民間企業は、2016年は同3.2%増となった。ただし、1月～8月の2.1%増をボトムに若干ながら回復している。
- ◆ 固定資産投資を主要業種別に見ると、鉱業は前年比20.4%減、製造業は同4.2%増、インフラについては同15.8%増となった。
- ◆ 2016年の不動産開発投資は前年比6.9%増と、1月～7月の前年同月比5.3%増を直近のボトムとして回復している。不動産新規着工面積・完工面積は、それぞれ同8.1%増、同6.1%増であった。
- ◆ 2016年の固定資産投資伸び率に対する産業別寄与度では、第三次産業が6.1%ptと大きく貢献した。

固定資産投資



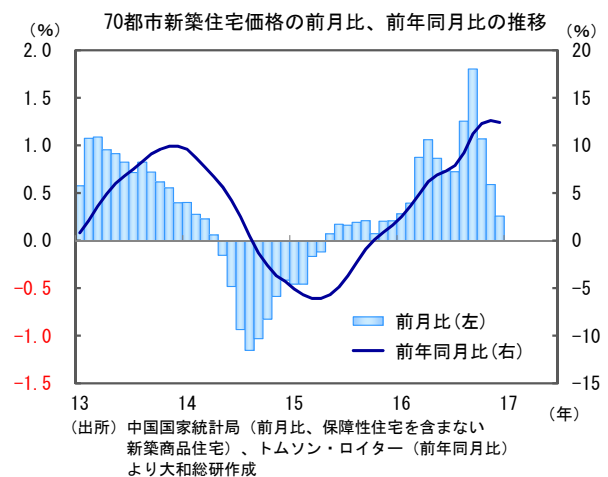
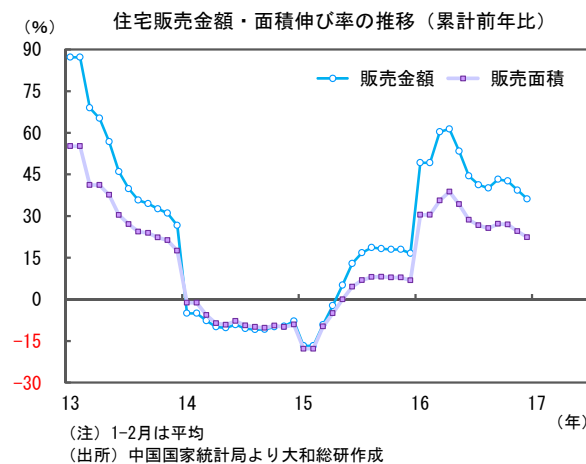
不動産開発投資、固定資産投資産業別寄与度



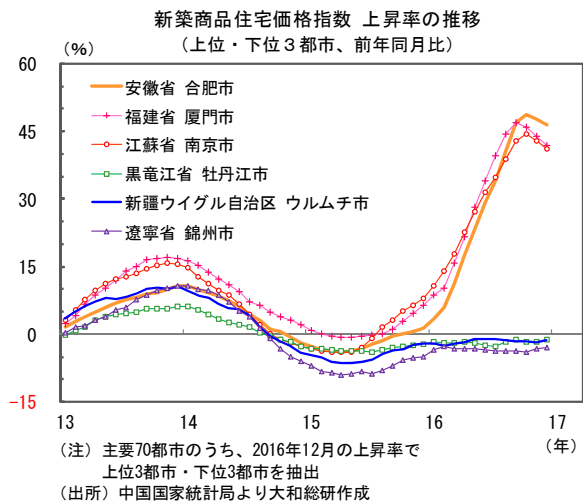
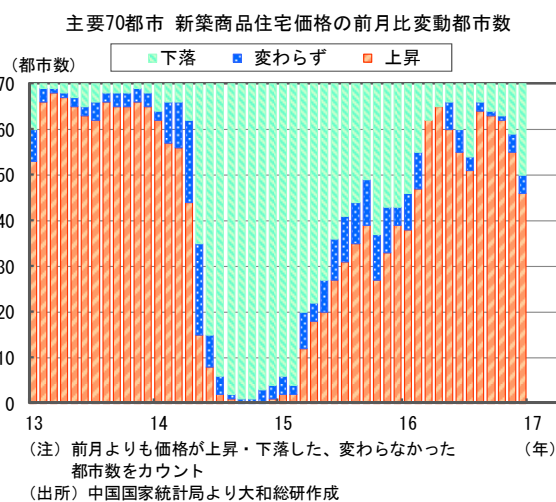
住宅

- ◆ 不動産販売金額のうち住宅販売は、1月～4月の前年同期比61.4%増をピークに伸びが低下しており、2016年は前年比36.1%増となった。
- ◆ トムソン・ロイターによると、2016年12月の主要70都市平均新築住宅価格は前年同月比12.4%上昇した。一方、前月比（新築商品住宅、中国国家统计局による）は0.3%上昇と9月（同1.8%上昇）をピークに上昇ペースが大きく鈍化した。
- ◆ 中国国家统计局による12月の主要70都市、新築商品住宅価格を前月比で見ると、上昇したのは46都市、下落したのは20都市、変わらずは4都市となった。
- ◆ 主要70都市の新築商品住宅価格上昇率の上位3都市は、安徽省合肥市（前年同月比46.5%上昇）、福建省厦门市（同41.9%上昇）、江蘇省南京市（同41.0%上昇）であった。一方、下位3都市は遼寧省錦州市（同2.9%下落）、新疆ウイグル自治区ウルムチ市（同1.4%下落）、黒竜江省牡丹江市（同1.2%下落）となっており、住宅価格は著しく二極化している。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



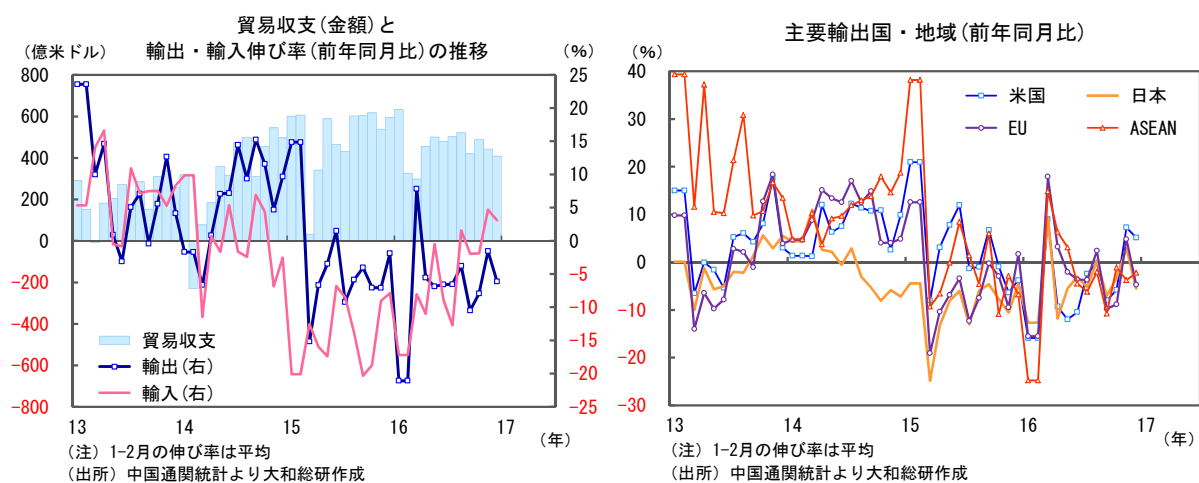
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



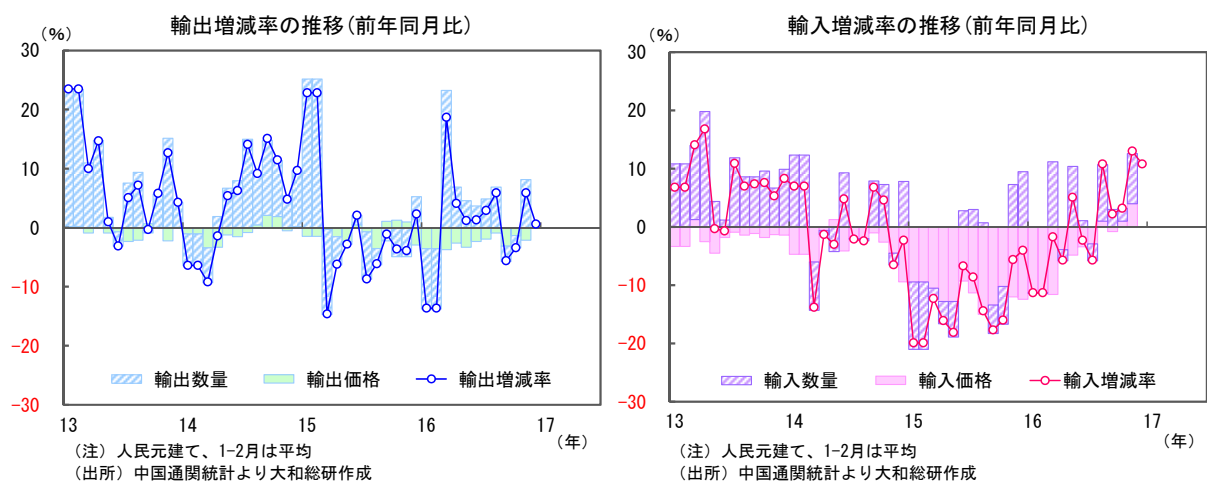
貿易

- ◆ 2016年12月のドル建て輸出は前年同月比6.1%減と、9ヵ月連続でマイナスとなった。輸入は同3.1%増となった。貿易収支は408億米ドルの黒字だった。
- ◆ 2016年のドル建て輸出は前年比7.7%減、輸入は同5.5%減、貿易収支は5,100億米ドルの黒字だった。
- ◆ 16年12月の人民元建て輸出伸び率は前年同月比0.6%増と2ヵ月連続でプラスとなった。輸入は5ヵ月連続でプラスの伸びを維持し、12月は同10.8%増となった。
- ◆ 2016年の人民元建て輸出は前年比2.0%減、輸入は同0.6%増だった。

輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



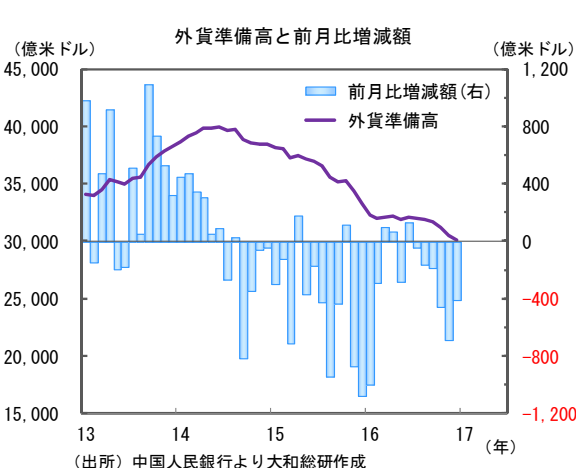
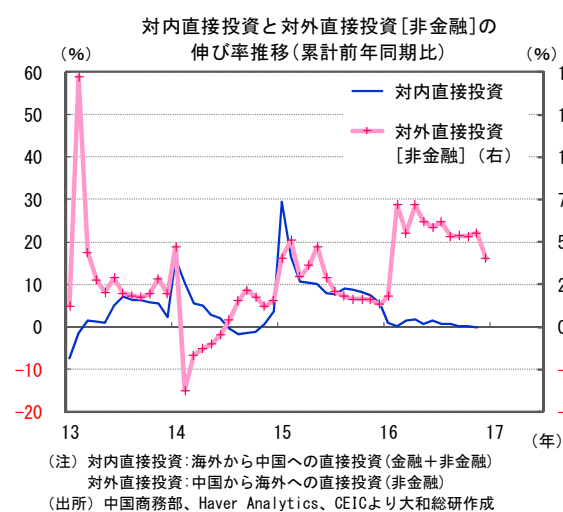
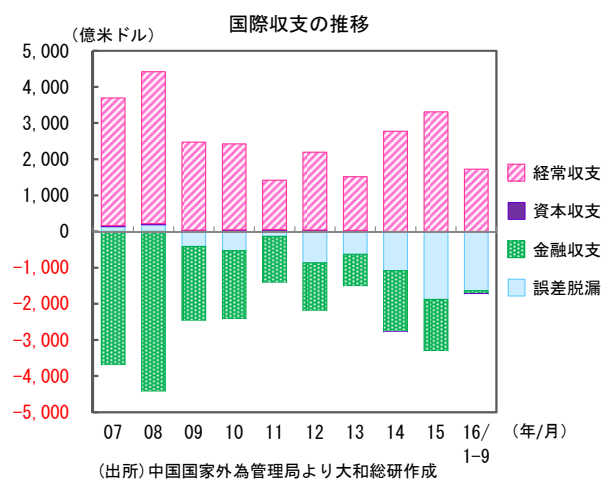
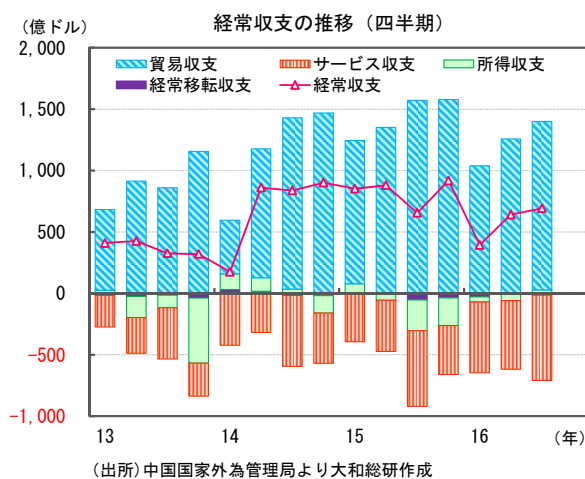
輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量



国際収支

- ◆ 2016年1-9月期の経常収支は1,727億米ドルの黒字であった。貿易収支黒字は増加傾向にある一方、サービス収支は赤字が続いているが、前者の増加がより大きく、経常収支の黒字は1-3月期以降、拡大している。
- ◆ 16年1-9月期の資本・金融収支は、合計で94億米ドルの赤字、誤差脱漏は1,633億米ドルの赤字であった。中国からの資本流出は続いている。
- ◆ 2016年1月～11月の海外から中国への直接投資（対内直接投資）は1,138億米ドル、前年同期比は0.2%減だった。一方、2016年の中国から海外への対外直接投資（非金融）は、1,701億米ドル、前年比40.1%増だった。
- ◆ 16年12月末の外貨準備高は3兆105億米ドルと、2011年3月以来の低水準。3兆ドル割れ目前となり、前月比では6ヵ月連続で減少した。

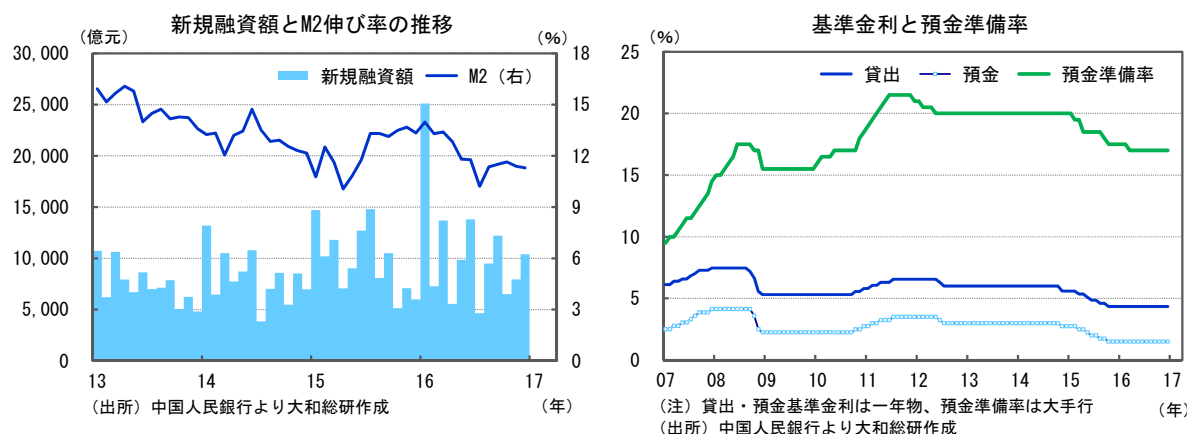
経常収支、対内・対外直接投資、外貨準備高



金融

- ◆ 2016年12月末のM2伸び率は前年同月比11.3%であった(2016年のM2年間目標は、13%)。
- ◆ 2016年の社会資金調達金額(社会融資総量)は前年比15.0%増、うち人民元貸出は同10.4%増であった。12月末の融資残高は155兆9,900億元で、前年比12.8%増だった。

M2と金利



社会資金調達金額(社会融資総量)の増加額と残高

社会融資総量の増加額(億元)								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2006年	42,697	31,522	1,461	2,693	826	1,500	2,311	1,535
2007年	59,664	36,324	3,864	3,371	1,703	6,702	2,285	4,333
2008年	69,804	49,042	1,947	4,261	3,145	1,065	5,523	3,325
2009年	139,105	95,943	9,265	6,780	4,364	4,607	12,369	3,352
2010年	140,191	79,450	4,853	8,749	3,864	23,347	11,060	5,786
2011年	128,286	74,715	5,712	12,964	2,032	10,272	13,659	4,377
2012年	157,631	82,038	9,163	12,838	12,846	10,498	22,551	2,508
2013年	173,168	88,917	5,849	25,466	18,403	7,756	18,112	2,219
2014年	164,134	97,815	3,554	25,069	5,175	-1,281	23,816	4,350
2015年	154,063	112,693	-6,427	15,911	434	-10,567	29,388	7,590
2016年	160,800	114,430	-5,251	17,843	6,950	-21,118	31,046	11,587
前年比(%)	15.0	10.4	純減⇒純減	37.6	1881.2	純減⇒純減	2.1	63.4
社会融資総量の残高(億元)								
	全体	内訳						
		人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の銀行引受手形	企業債券	非金融企業の域内株式発行
2006年	264,500	216,134	9,361	11,091	2,028	4,850	5,698	9,303
2007年	321,326	251,580	11,411	14,407	3,732	11,562	8,034	13,564
2008年	379,765	298,625	11,993	18,599	6,877	12,626	14,358	15,965
2009年	511,835	392,095	18,649	25,258	11,238	17,234	26,734	18,886
2010年	649,869	470,121	21,614	36,422	15,103	40,586	38,042	24,722
2011年	767,478	545,811	24,445	44,143	17,142	50,651	51,814	29,098
2012年	914,186	627,682	31,095	51,692	29,999	61,136	74,819	31,601
2013年	1,074,575	716,813	33,333	72,214	48,329	68,839	92,925	33,718
2014年	1,228,591	814,300	34,700	93,300	53,500	68,660	116,900	37,690
2015年	1,382,800	927,526	30,193	110,100	54,500	58,542	146,258	45,251
2016年末	1,559,900	1,051,900	26,300	132,000	63,100	39,000	179,200	57,700
前年比(%)	12.8	13.4	-12.9	19.9	15.8	-33.4	22.5	27.5

(注) 社会融資総量とは、金融システムから経済に供給された資金のネット増加額(または減少額)。

内訳と合計は一致しない。社会融資総量の増加額に関しては、月次金額の合計値を使用。

(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2016年12月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間4.5%下落、7.6%下落だった。2016年の年間騰落率は、12.3%下落（上海）、19.6%下落（深圳）となった。
- ◆ 16年12月末の人民元の対米ドルレートは6.937元/ドルと月間0.7%の元安となった。2016年の年間では、対米ドルで6.8%、対ユーロで3.0%、対円で10.6%の元安となった。2017年1月24日時点の対米ドルレートは6.8331元/ドルと前月末比で1.5%元高であった。
- ◆ 16年12月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比1.0%の元高、前年同月比5.7%の元安であった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

